

2009年3月期決算 決算経営報告

Part - 1 : 決算説明

Part - 2 : 環境変化と対応策

2009年5月15日
三菱製紙株式会社

2009年3月期 決算実績

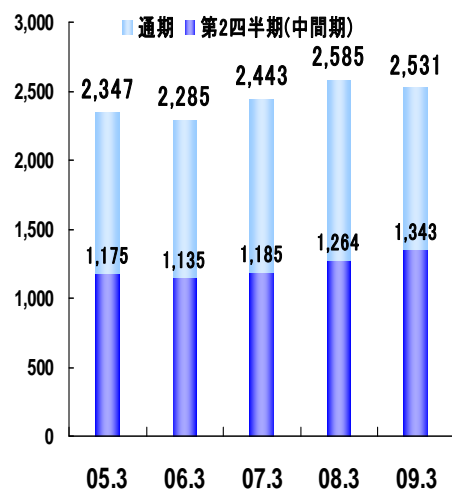
決算ハイライト <連結>



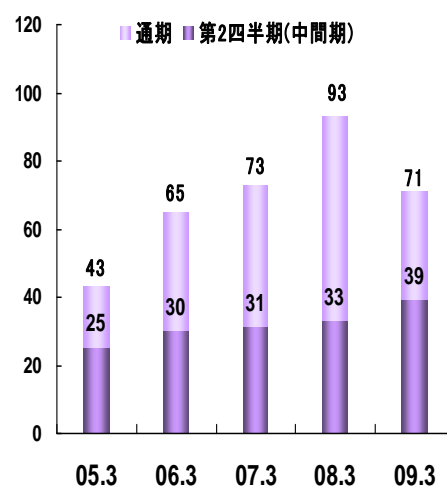
(単位: 億円)

	2008年3月期		2009年3月期		前年同期比	
	金額	売上高利益率(%)	金額	売上高利益率(%)	金額	増減率(%)
売上高	2,585	—	2,531	—	▲54	▲ 2.1
営業利益	93	3.6	71	2.8	▲22	▲23.6
経常利益	71	2.8	45	1.8	▲26	▲36.8
当期純利益	37	1.4	12	0.5	▲25	▲68.0

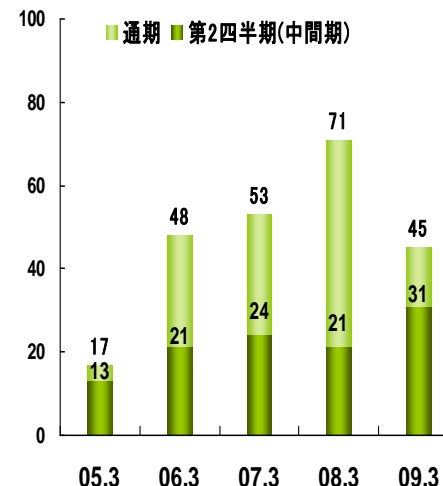
売上高



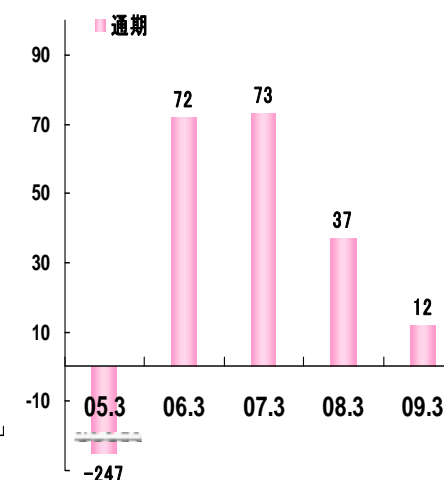
営業利益



経常利益



純利益



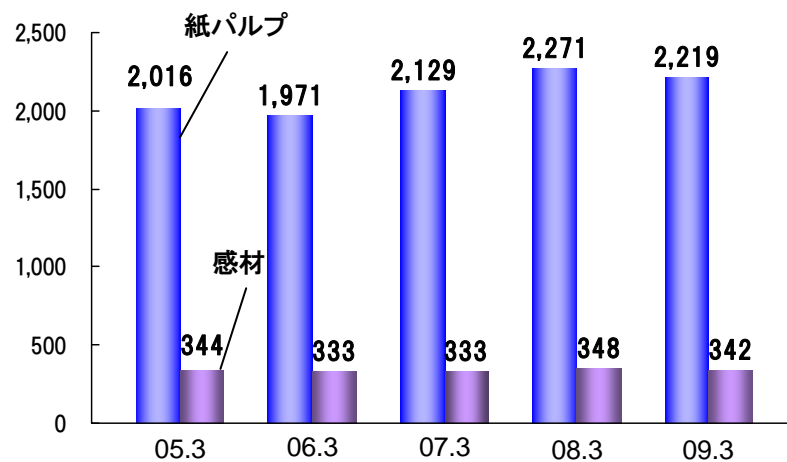
事業の種類別セグメント情報 <連結>



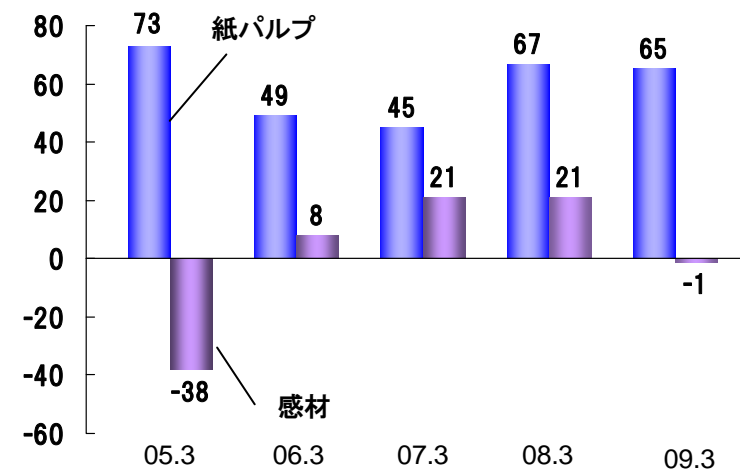
(単位: 億円 %)

		2008年3月期	2009年3月期	増減額	増減率
売上高	紙パルプ	2,271	2,219	▲ 52	▲ 2.3
	感材	348	342	▲ 6	▲ 1.8
	その他	231	216	▲ 15	▲ 6.6
	消去	▲265	▲ 246	19	—
	合計	2,585	2,531	▲ 54	▲ 2.1
営業利益	紙パルプ	67	65	▲ 2	▲ 2.2
	感材	21	▲ 1	▲ 22	—
	その他	7	5	▲ 2	▲20.0
	消去	▲ 2	2	4	—
	合計	93	71	▲ 22	▲23.6

売上高 (単位: 億円)



営業利益 (単位: 億円)



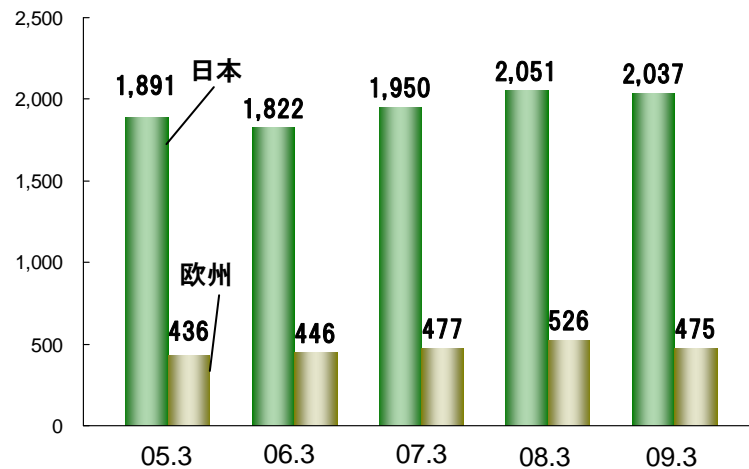
所在地別セグメント情報 <連結>



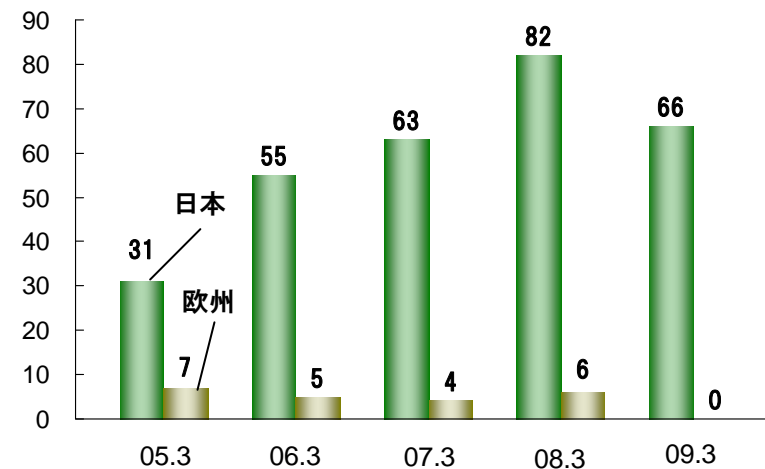
(単位: 億円 %)

		2008年3月期	2009年3月期	増減額	増減率
売上高	日本	2,051	2,037	▲ 14	▲ 0.7
	ヨーロッパ	526	475	▲ 51	▲ 9.7
	米国	103	81	▲ 22	▲21.8
	消去	▲ 95	▲ 62	33	—
	合計	2,585	2,531	▲ 54	▲ 2.1
営業利益	日本	82	66	▲ 16	▲19.7
	ヨーロッパ	6	0	▲ 6	▲95.7
	米国	2	1	▲ 1	▲57.5
	消去	3	4	1	—
	合計	93	71	▲ 22	▲23.6

売上高 (単位: 億円)



営業利益 (単位: 億円)

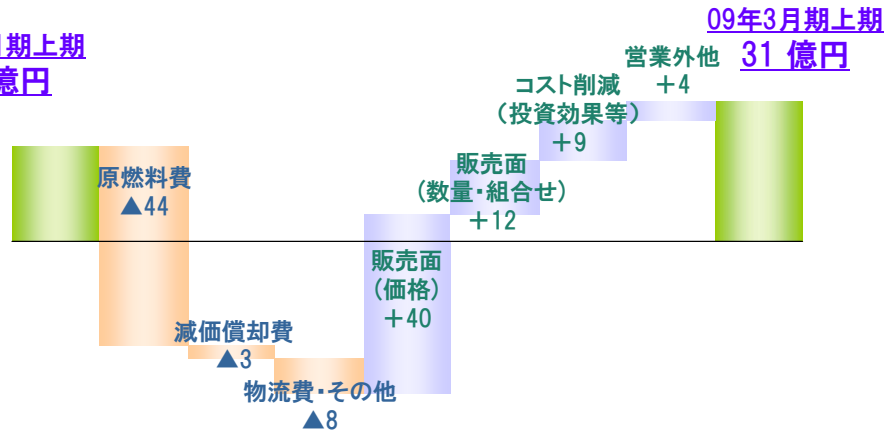


経常利益 増減要因 <上上・下下・通期>



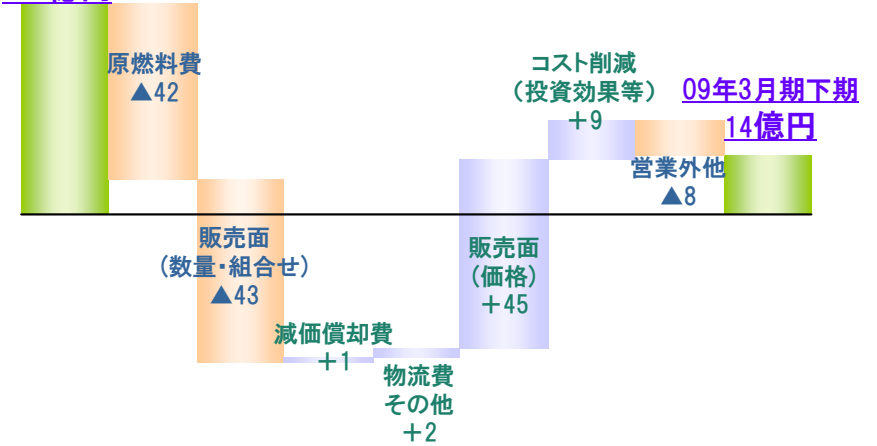
上期比較

08年3月期上期
21 億円



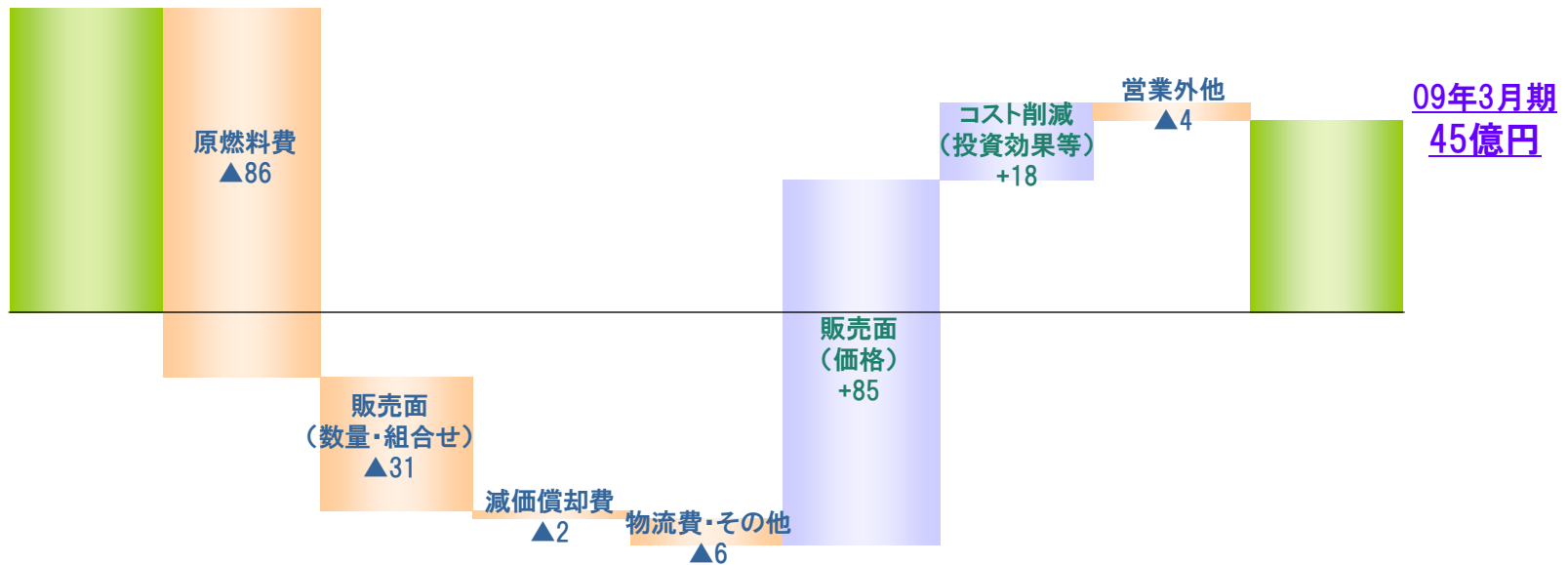
下期比較

08年3月期下期
50 億円



通期比較

08年3月期
71 億円



貸借対照表 <連結>



(単位: 億円 %)

	2008年3月末		2009年3月末		前期末比
	金額	構成比	金額	構成比	金額
資産合計	3,031	100.0	2,943	100.0	▲ 88
流動資産	1,162	38.3	1,166	39.6	4
固定資産	1,869	61.7	1,777	60.4	▲ 92
有形固定資産	1,346	44.4	1,362	46.3	16
無形固定資産	21	0.7	14	0.5	▲ 7
投資その他の資産	502	16.6	401	13.6	▲101
負債合計	2,234	73.7	2,238	76.1	4
流動負債	1,605	52.9	1,588	54.0	▲ 17
固定負債	629	20.8	650	22.1	21
純資産	797	26.3	705	23.9	▲ 92
有利子負債 *注	1,530	—	1,635	—	105

*注: 会計基準変更に伴い2009年3月期よりリース債務を含んでおり、従来の方法より37億円有利子負債が増加しております。

キャッシュ・フロー計算書 <連結>



(単位:億円)

	2008年3月期	2009年3月期	前期末比
	金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	188	42	▲146
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲177	▲123	54
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲90	81	171
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	12	12
現金及び現金同等物の増減額	▲79	12	91
現金及び現金同等物の期首残高	102	23	▲79
現金及び現金同等物の期末残高	23	35	12

	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期(予想)
有利子負債 *注	1,530億円	1,635億円	1,680億円
減価償却費	127億円	129億円	134億円
設備投資額	181億円	155億円	80億円
従業員数	4,574人	4,597人	4,470人

*注:会計基準変更に伴い2009年3月期よりリース債務を含んでおり、従来の方法より37億円有利子負債が増加しております。

参考情報 <単体>



(単位: 千t・億円)

品種内訳		2008年3月期				2009年3月期			
		中間期		通期		第2四半期累計		通期	
		販売数量	販売金額	販売数量	販売金額	販売数量	販売金額	販売数量	販売金額
紙	非塗工紙(上級紙他)	84	95	177	206	92	113	179	221
	塗工紙 (コーテッド紙・IJ用紙他)	319	400	649	821	328	446	616	826
	情報用紙 (感熱紙・ノーカーボン紙他)	48	100	95	203	47	105	87	202
	板紙	24	26	48	53	24	27	45	53
	その他 (薄葉紙・家庭紙・不織布他)	10	53	19	105	9	50	17	98
合計		485	674	988	1,388	500	741	944	1,400

	2008年3月期	2009年3月期
為替レート(期中平均)	113.80円/US\$	100.62円/US\$
原木チップ使用数量 (輸入材比率)	1,162千t (68%)	1,217千t (66%)
購入パルプ使用数量 (購入比率)	104千t (13%)	71千t (9%)
重油使用量	49千kl	47千kl
石炭使用量	303千t	301千t
買電使用量 (自家発電比率)	215MWH (86%)	276MWH (80%)

注: 原燃料使用数量には北上ハイテクペーパー分を含みます。

2010年3月期 決算予想

通期業績予想 <連結 上上・下下・通期比較>



(単位:億円 %)

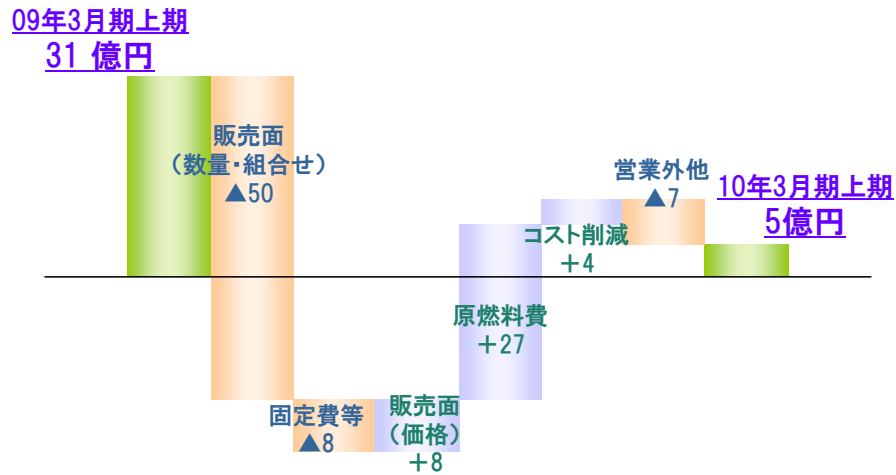
	2009年3月期			2010年3月期			前年同期比					
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期		下期		通期	
							金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
売上高	1,343	1,188	2,531	1,150	1,250	2,400	▲193	▲14.3	62	5.2	▲131	▲5.2
紙・パルプ	1,189	1,030	2,219	990	1,080	2,070	▲199	▲16.7	50	4.9	▲149	▲6.7
感材	174	168	342	170	180	350	▲4	▲2.3	12	7.1	8	2.3
その他	114	102	216	100	110	210	▲14	▲12.3	8	7.8	▲6	▲2.8
消去	▲134	▲112	▲246	▲110	▲120	▲230	24	—	▲8	—	16	—
営業利益	39	32	71	20	50	70	▲19	▲48.2	18	54.5	▲1	▲1.6
経常利益	31	14	45	5	35	40	▲26	▲83.7	21	140.7	▲5	▲11.1
当期純利益	32	▲20	12	▲10	25	15	▲42	—	45	—	3	28.4

予想の前提: 1\$ = 100円、1ユーロ = 130円、ドバイ原油相場1バレル = \$55

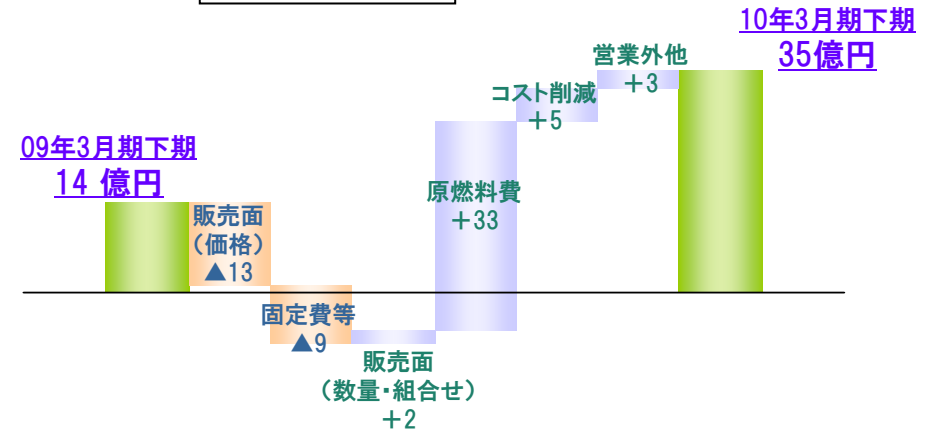
経常利益予想 増減要因 <上上・下下・通期>



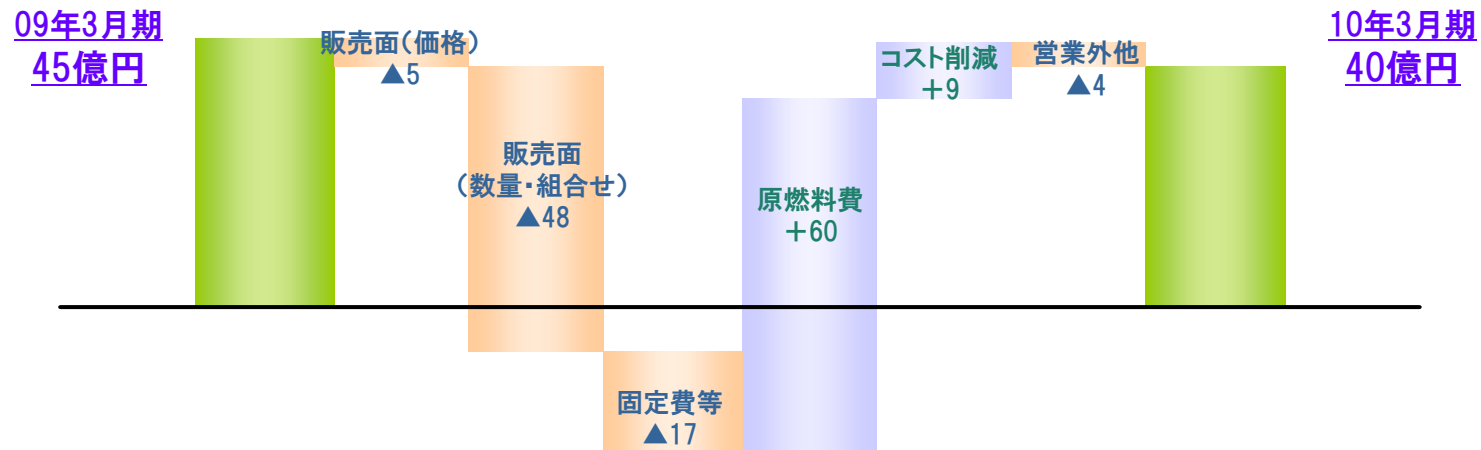
上期比較



下期比較

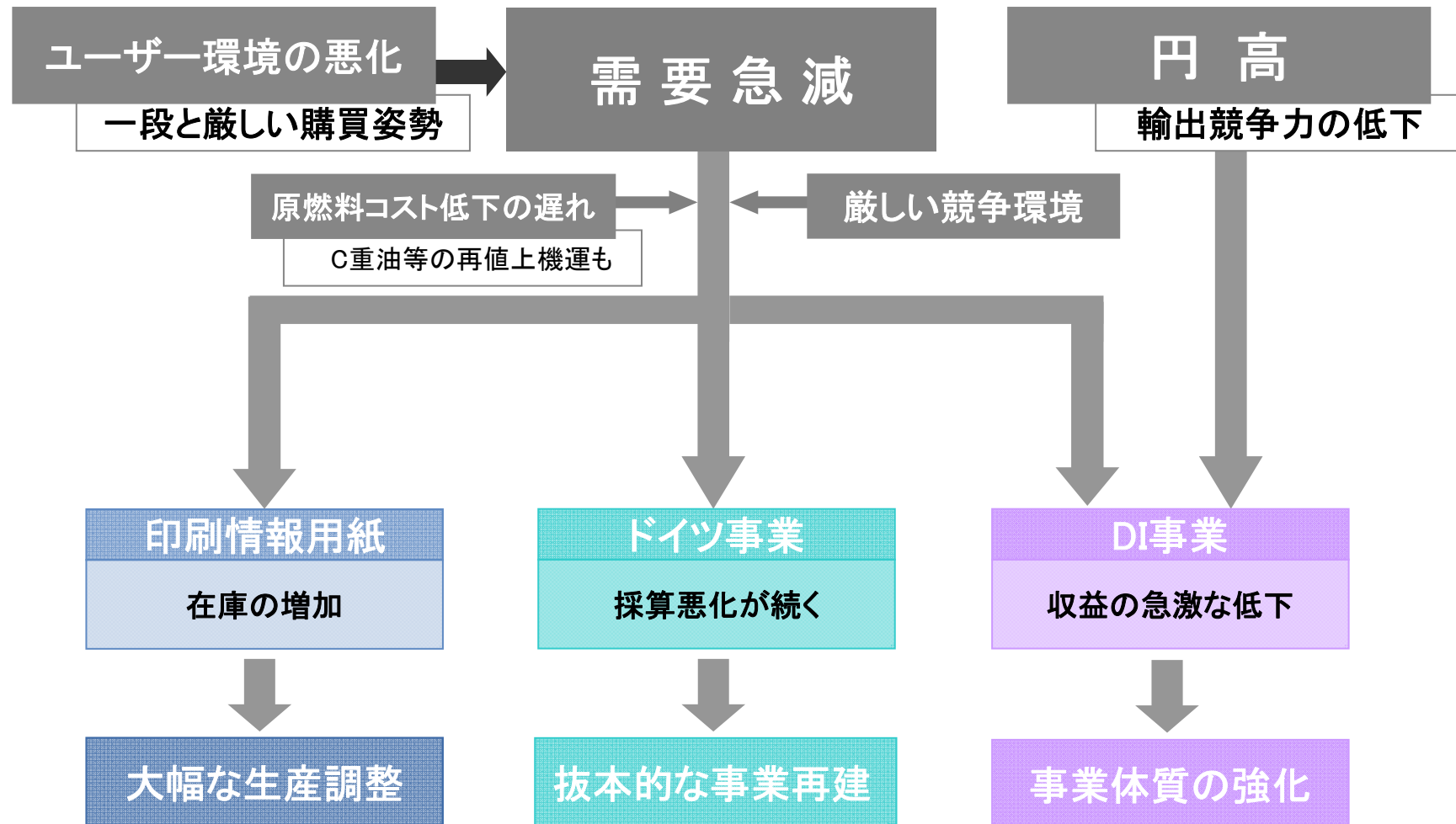


通期比較

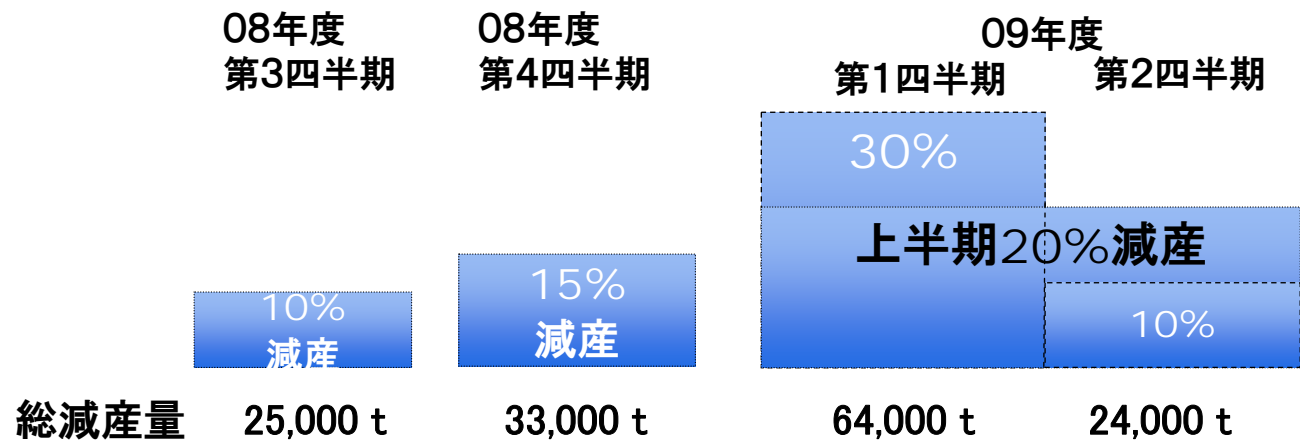


環境変化と対応策

2008年来の環境変化と対応



印刷・情報用紙の減産強化



4月 主要マシンの停機

5月 10日間 一斉停機（GW期間）

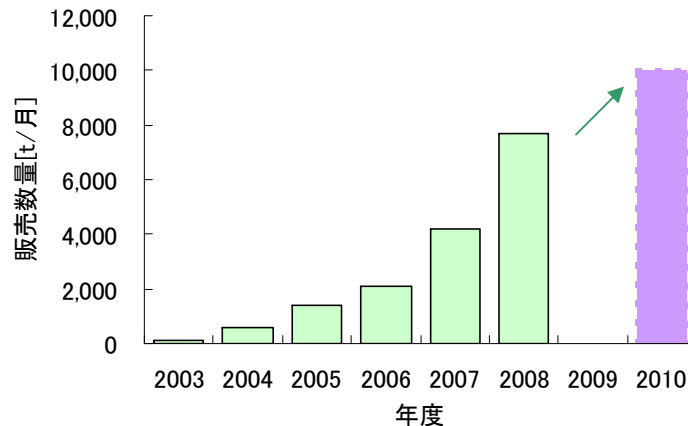
6月 14日間 一斉停機（定例修理期間を活用）

■ 低操業下での利益体制の構築

販売に沿った適切な生産割付、オペレーションを目指す

1. FSC森林認証紙 販売数量の推移

（数量は お客様の表示品納入指定 ベース）



2008年度実績 7,000t/月

（対前年+85%）

2010年度目標 10,000t/月

■ 森林認証紙のトップランナー

2. 「グリーン購入法新基準」適合のコピー用紙

- ・古紙パルプ配合率70%以上の2銘柄（総合評価値84点、90点）生産販売を開始
- ・現在500t/月 → 将来2,000t/月へ

3. 「森の町内会」プロジェクトの推進 ～間伐材利用拡大による国内森林整備～

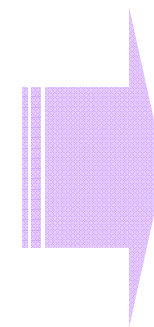
- ・紙製品価格に間伐促進費を上乗せし、促進費を山元に
- ・「森の町内会マットコート紙」など印刷用紙 約360トン/年に伸びた（対前年4倍）
- ・新基軸の「森の町内会コピー用紙」を開発
（針葉樹パルプ10%以上、古紙パルプ70%以上配合、本年4月販売）

抜本的なリストラクチャリング

- ・情報用紙(ノーカーボン紙、感熱紙等)の厳しい競争、オーバーキャパ
- ・天然ガス、製紙薬品など高止まり
- ・域外輸出の不採算

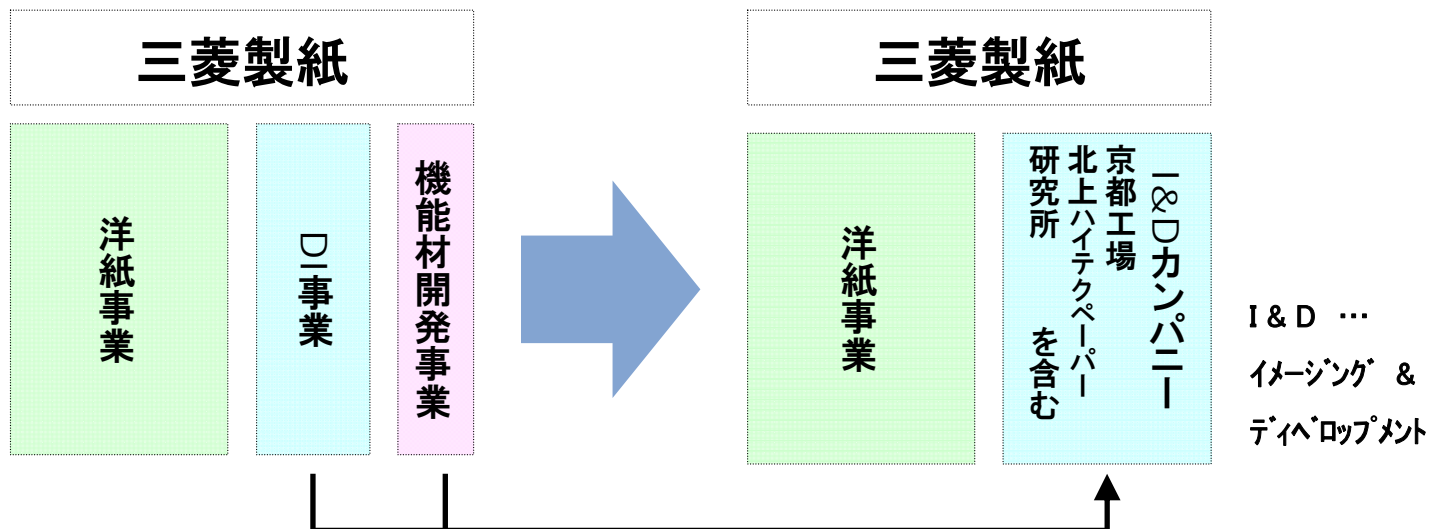


1. 1号抄紙機の休止(→3号抄紙機に集約)
2. 4台のキャスト塗抹機の休止
3. 150名の人員削減(内. 121名に通知済)
4. 生産品種見直し、プロダクトミックス改善
5. 抜本的な組織見直し、集約(MPF+MPB)
 - ①営業体制、物流・購買体制の強化
 - ②研究体制の統合・強化
 - ③経営や管理部門の集約



今期目標
採算改善
15億円

DI事業と機能材開発事業を合わせ、カンパニー制の導入



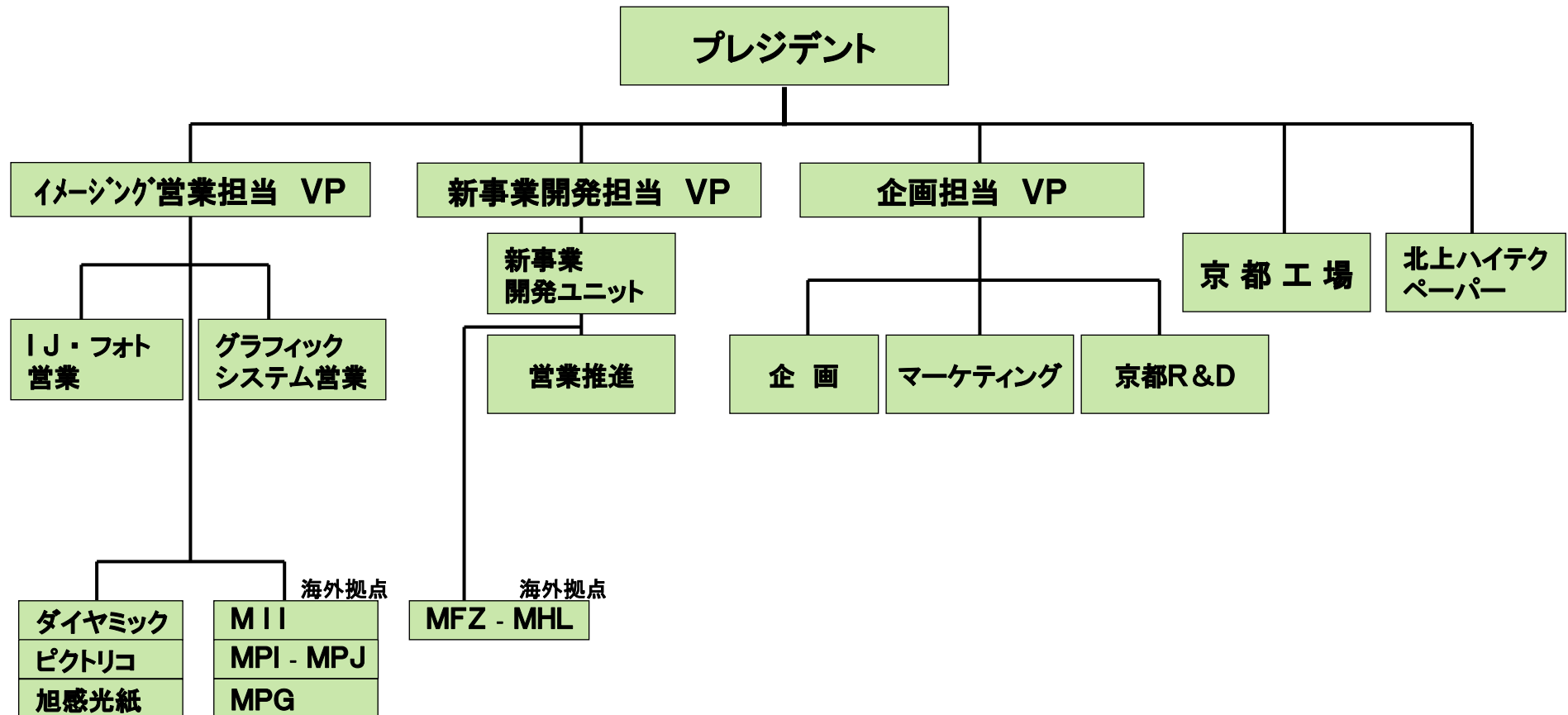
- 「DI事業」と「機能材開発事業」は、研究開発型
- 環境変動に対応した組織化、リソースの投入

マーケティング力の強化

意思決定の迅速化、責任の明確化

- 研究・生産・営業が一体となった高収益事業
- 早期収益改善
目標20億円

【I & D カンパニー】 イメージング & デベロップメント カンパニー



VP:ヴァイス プレジデント

確固たる企業基盤づくり

目指す業界ポジション

「ハイグレード&情報メディア」の三菱製紙
という独自ポジションの確立により
業界トップレベルの収益性を確保

事業ポートフォリオ

印刷・情報用紙、DI事業、開発事業の
3事業がバランス良く成長する
企業体を構築

基本目標

売上高	3,000億円
経常利益	150億円
ROS	5%

本資料における将来の見通し等に関する記載は、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づくものです。
今後の実際の業績は、記載の見通しと異なる場合があることをご了承願います。